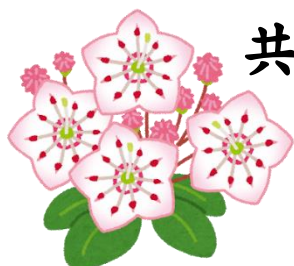


センター通信



カルミア

共創 ～共に創る子どもの未来～

伊丹市 P T A 連 合 会
会 長 高 橋 靖 人

子どもたちは、毎日の学びや遊び、そして人との関わりの中で少しずつ成長していきます。その歩みを支えるのは、学校や家庭だけではありません。地域の大人たちが温かく見守り、必要なときに手を差し伸べることが、子どもたちの健やかな成長につながります。私たち PTA は、そんな地域の力をつなぐ存在として、「共創」の輪を広げながら活動を続けています。

「共創」とは、互いの知恵や力を持ち寄り、一人ではできないことを共に実現していくことです。授業参観や学校行事のサポート、通学路の見守り、地域行事への参加など、どれも一見小さな取り組みかもしれませんが、でも、その積み重ねが子どもたちの安心と安全を守り、地域の絆を強くする大切な力になっています。

地域の大人が協力し合う姿を見せることは、子どもたちへの最高の教育でもあります。考え方や背景の違う人が話し合い、力を合わせて成果を生み出す姿は、「共に生きる力」を子どもたちに伝えてくれます。デジタル社会が進む今だからこそ、「顔の見えるつながり」が大切なことであると考えます。

少年愛護センターの皆さまには、日ごろから愛護パトロールなどを通して青少年の健全育成にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。学校・家庭・地域・行政が手を取り合うことで、子どもたちを取り巻く環境はより良いものになっていくと信じています。PTA も、未来を担う子どもたちのために、地域全体で見守り支える活動をこれからも続けてまいります。

令和8年度から学校では働き方改革の一環として「部活動の地域移行」が進められています。これは教職員の負担を減らすだけでなく、地域が子どもを育てる新しい仕組みづくりでもあります。部活動は、仲間と努力し協力し合う貴重な学びの場です。その活動を学校だけでなく地域の力で支えることは、「共創」の実践そのものです。PTA は、学校と地域、保護者をつなぐ橋渡し役として、安全面の配慮や指導者との連携づくりなど今後も深く関わってまいります。

子どもたちは、大人の背中を見て育ちます。地域の誰もが「子どもは地域の宝」と感じ、温かく見守る社会をつくること。それが青少年の健全育成につながり、未来への希望を育む道だと信じています。これからも私たち伊丹市 PTA 連合会は、「共創～共に創る子どもの未来～」をスローガンに、笑顔あふれる地域づくりに力を合わせてまいります。

今後ともご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



第 58 回 兵庫県青少年補導委員会・研修会

— 開催日：10 月 24 日(金) 場所：三木市文化会館 —

開会行事（表彰式・大会決議提案）

研修会 講師：motto ひょうご事務局長 栗木 剛 氏

演題 「楽しもう青少年補導活動」

受賞者の少年補導委員さん — 敬称略 —

知事表彰 (通年 20 年) 石川 貞美 大山 昭美

知事感謝 (通年 10 年) 深森 由幸 和田 裕 寺岡 勉
澤田 広一 上原 夏雄 山本 真美 中山 清子
三井 和夫 福田 昭久 山中 昭子 佐藤 文江

会長感謝 (継続 5 年) 萩原 香織



© http://tiggig.com

第 2 回 愛護補導連絡会・学校補導連絡会

すでに 9 月に 6 小学校区、10 月に 4 小学校区で第 2 回愛護補導連絡会が開催されました。今月は 5 小学校区と 12 月に 2 小学校区で開催が予定されています。

また、第 2 回学校補導連絡会が 10 月に 7 中校区で開かれ、今月の 1 中学校区を残すのみとなりました。学校補導連絡会も愛護補導連絡会と同様、校区内の少年補導委員、PTA 愛護部、学校、その他の関係機関が連携することを目的として、年 2 回行われています。「地域の子どもは地域で守り育てよう」という観点に立ち、子どもたちを健全に育む取組や活動がより一層進むよう、連絡会で情報交換、研修、議論等を重ねています。

11 月は全国「子ども・若者育成支援推進強調月間」— 青少年を守り育てる県民スクラム運動 —

地域、学校、保護者、事業者、行政等が連携して、未成年者の飲酒・喫煙、万引き、薬物乱用の防止やインターネット利用対策等、青少年の非行防止と社会環境の浄化を図るとともに、健全育成に対する県民の意識の高揚を図ります。

少年愛護センターでは毎月有害図書回収を行う等、青少年健全育成のための環境浄化を行っています。更に、11 月は県民スクラム運動の一環として、環境実態調査（全 104 店舗）と青少年を守る店（全 410 店舗）推進運動を行っています。市内少年補導委員さんには併せて市内 514 店舗を一軒一軒訪問しての実態調査や守る店推進運動にご協力いただいています。こうした地道な取組こそが子どもたちの環境を守り、健全育成の素地となっているのではないのでしょうか。少年補導委員さんに感謝いたします。

10 月 補導活動 — 暫定値 —		幼児・小学生	中学生	高校生・その他	大人	相談活動 件数	
						電話相談	1 件
あいさつ		3 6 3 2	1 2 0	6 5	4 6 4	来所相談	3 件
声かけ/会話等		3 5 3	1 0 2	4 5	5 5	メール相談	0 件
(内)	遊びに関して	0	0	0	0	有害図書 回収状況	
問題	交通に関して	5	4	6	2	有害図書	4 7 冊
行動	その他	1	7	1 6	1	有害 AV 等	1 9 5 個

ひょうご防犯ネット情報 (10/1 ~ 10/31 掲載分)

日	時刻	場 所	事 案	概 要
— 行為者確保・警告等があったものには☆印 —				
4	18:00	笹原公園	暴行事件	☆ 男が、公園で遊んでいた男子中学生の首元を掴み、立ち去った。その後、犯人は検挙された。
10	17:40	北本町 1	不審者	信号待ち中の女子小学生に、男が乗る自転車を通り過ぎる際に唾のようなものがかかった。
20	15:50	商業施設	盗撮事案	商業施設利用中の女子高生に対して、男がスカート内にスマートフォンを差し入れた。」

11 月の予定

7(金)	伊丹市少年補導委員連合会 役員会・定例理事会	28(金)	伊丹市青少年健全育成研修会
10(月)	広報啓発活動（摂陽・南・笹原） 一斉補導活動（花里・有岡）	(随時)	街頭補導活動 (各小学校区) 中学校区内補導活動 (各中学校区)
11(火)	伊丹市少年補導委員 管外研修		電話・来所・メール相談 (愛護センター)
21(金)	有害図書回収		

「センター通信」へのご意見ご感想を、伊丹市立少年愛護センター（Tel.072-780-3540）までお寄せください。